

平成29年10月13日 金曜日  
中日新聞西濃版

### ロボットカメラで 旧揖斐川橋梁点検

岐阜大工学部

最新鋭のロボット技術を使って橋を点検する実地試験が、大垣市が管理する国重要文化財で、同市新開町と安八町西結をつなぐ揖斐川に架かる鉄橋「旧揖斐川橋梁」で行われた。内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」で

ロボットカメラを使って行われた旧揖斐川橋梁の点検  
14日、大垣市新開町で



研究委託を受けた岐阜大工学部の研究チームが、県内各地の橋や堤防、トンネルなどで実施している試験。最新鋭のロボットカメラを市職員らの前で操作し、旧揖斐川橋梁の点検に実用化できるかを検証した。

ロボットカメラでは定期的な点検のために撮影位置を細かく記録し、〇・二ミリの程度の小さなひび割れも発見できる。国重文のため維持管理に制約が多い旧揖斐川橋梁を、足場などを組まずに効率的に点検することが狙い。旧揖斐川橋梁は英国人技術者の設計で一八八七（明治二〇）年に完成し、現在は自転車と歩行者の専用道として使われている。

（滝田健司）